常磐毎日新聞

日刊

定價 一部金五錢 一ヶ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
福島縣平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）東京 四〇二二〇番

七月一日夕刊

天氣豫報
今晩は南東の風曇時々小雨
明日は南の風曇時々晴

〝彈丸列車〟現る

青森…上野間 十二時間半！

十日から實施三等急行

旅客延長運轉開始

旅客交通量の激增と着發貨物の夥しい輻輳から鐵道當局では今七月一日から常磐並磐越東線に左記の如く列車の延長運轉を斷行し更に來る十日から不定期急行列車（青森—上野間一往復）を增發し旅客輸送の緩和を圖ることゝなつた

一日から實施のもの

▼下り上野發（午前七時四十八分）水戸着（同十時十九分）を平驛まで延長運轉（平着午後零時二十七分）

▼上り平發（午前六時）列車を水戸まで新設延長し上野着同十一時〇四分

一日から時刻變更のもの

▼原ノ町上野間列車の平着午前七時二十六分を同發七時三十分平着七時四十二分、同發七時四十八分と變更又磐越東線郡山發平着午前七時三十分を七時四十五分と變更、更に平發午前六時十五分郡山行きを午前六時十二分に繰上ぐ

新設急行 時刻決定す

別項、來る十日から上野青森間に新設される不定期急行列車の平着發時間は左の如く決定した

△上り青森驛發午後七時廿八分、平驛着午前七時廿二分、同發同廿八分、上野驛着同十時五十分

△下り上野驛發午後六時五十分、平驛着同十時〇二分、同發同十時八分、青森驛着午前七時二十八分

尚この不定期急行列車は食堂車を連結する八輌編成で列車索引力と收容力の增大を計るため三等寢臺を連結せず大衆的な純然たる三等急行列車であつてしかもスピードは上野青森間を十二時間三十五分で到達する現行急行旅客列車と同時間速力で運轉期間は

△七月十日から九月末日まで

△十二月一日から一月末日まで

△三月十五日から四月末日まで

とし常磐線として旅客激增する前記三期間を選び運轉するもので國鐵として斯かる彈丸列車を東日本に入れることは今回がはじめてである

平市議候補者屆

鈴木庄之助　五五才　農　上平窪

【累計五十一名】

政見發表の立會演説會

出演候補二十名

福島民報主催市會議員候補者の立會政見發表演説會は明後三日午後五時半から市内聚樂館及び第三校講堂に開催されるが出演候補者は左の如く二十名でいづれも兩會場に出演する筈である（出演者申込順）

井上茂作、蓮沼龍輔、關内正一、野崎滿藏、馬目雅治、吉田五平、山野邊義政、荻原義雄、酒井清、川崎文治、佐々木龍若、鈴木長三郎、草野七五三之助、小松茂、新妻善吉、鈴木寶雄、金古政通、多田井笑次郎、伊藤儀七、吉

田寅之輔

郡下兒童 体育大會

競技種目決定

郡下第三區平第一外十五校五百名の兒童體育大會は既報の如く來る二十四日午前九時から高月臺上に開催されるが競技種目は左の如く決定された

△尋常科（男子）百米、四百米斷走、走巾跳、ボール投、體操（女子）八十米、四百米繼走、走巾跳、ボール投、體操△高等科（男子）百米八百米繼走、走高跳、ボール投、體操（女子）百米、八百米繼走、走巾跳、ボール投、體操

体操主任會

郡下第三區平方部十六校の体操主任會は明二日午後一時から平第一校會議室に開き來る二十四日催される兒童体育大會に就いて協議する

平政戰へなぶり

『荷香生』といふ御仁から〝平政戰へなぶり月旦〟との投稿がありました、敬意を表して掲載することにしました

平市會候補者玉手箱
蓋あく迄の龍宮の城

(1)川崎　文治氏
川崎の水引入れて田植して秋の豐を待つも樂しき

(2)永山　勇吉氏
永山に立つ木なければ只の山立つ勇吉ありこそ立られもする

(3)佐藤幸太郎氏
市政の料理も兎角佐藤にて味をつけよとみんな幸太郎

(4)關内　正一氏
自治体の機關を常に油屋を切らさぬやうに正一

(5)松本　德一氏
投票の日を松本の用意あり末は市を治めん德もあり

(6)野崎　滿藏氏
野崎樣の花も過ぎて政戰の武をば尊ぶ時代なりけり

(7)蓮沼　龍輔氏
市政も太るに連れては臺所打開の策には龍輔なく適進

早瀬におどる鮎！鮎！鮎！

鮫川筋はや〻好漁

けふ待望のアユ解禁

石城郡鮫川の鮎——川部村四時橋、上遠野村瀧の漁場は密漁を防ぐ組合の申合せでけふ午前四時一齊に釣を垂れた

平均五寸に近い發育と魚群の密集は近年にない好調を見せてゐるので川部村の二旅館には東京、水戸、平等の玄人師百五十名の部屋申込があつて超滿員

この朝合憎雨なので出足をそがれたがそれでも昨夜から四時川、鮫川筋に押しかけた天狗連はザット四百名に達し午前四時の夜明けをまつてどぶ釣や流し釣に腕を競ひ午前中までにいづれも四、五十尾の若鮎を獲つた、尚釣場所の好適地は四時川の五ケ村堰下、四時橋下安心坊、岩下瀬、鮫川の大瀧から山田村富津渡間である

可愛い天使

平第二校の七夕祭

平第二校は來る七日朝八時から〝花祭りと七夕祭り〟を催し一日中兒童達を樂しくすごさせる事になつたが今年も例年の如く終了後市内各病醫院を訪れ成績品や花束等を贈り入院患者を慰める筈である

小湊元町議等の選擧違反判決

既報四倉町仲町肥料商元町議小湊平次郎（五三）に絡まる選擧違反事件の判決公判は昨三十日午後一時から平區に開廷されたが野木判事から左の如く言渡された

△懲役七ケ月追徵金七圓小湊平次郎（五三）△罰金二百圓追徵金二十圓小湊セン（五二）△懲役三ケ月追徵金四十五圓門馬傳治（五九）△同三ケ月追徵金二十圓戸田彌太郎（四〇）△懲役二ケ月追徵金三十五圓緒方萬次郎（五九）△同二ケ月追徵金二十六圓新妻政義（三〇）△罰金五十圓追徵金十五圓根本智一（四四）

勿來町議選擧

來る四日執行

勿來町の町會議員選擧は來る四日執行されるが定員十八名に對して目下二十一名が立候補、三名超過である

大野村議開票

大野村の村會議員選擧は昨三十日執行されたが當選者は左の通り

八二小野善太郎　七七草野滌平　七四木田織江　五八佐藤善多　五七鈴木文吉　四九中野幸平　同鈴木明　四八吉田丑藏　同鈴木永次郎　四七會田喜市　四六西山惠一　四〇會田松治（次點）三六金成忠義

安田畫伯來平

作品頒布會を開く

畫壇の龍將川合玉堂氏門下の高足として知られてゐる青年作家安田傘契畫伯が此程來平したのを機會に青沼臨時市長等地方名士二十二氏が發起となり同氏の新作頒布會を開くことになつた

傘契畫伯は日本畫展、中央美術展の外帝展に四回入選し得意は花鳥山水、去る二月福島市津野呉服店主が『福島市歌』を繪畫化して同市第一小學校へ寄附した際囑望されて彩管を揮ひその多才ぶりを驚歎させたといふ

目下市内白銀町やよひ館に滯在頒布作品の揮毫に應じてゐる

振いあがつた小娘

四十男脅迫罪で檢擧

二十八日朝市内材木町飲食店永久保邦安氏の娘ハル（一五）假名さん宛に

「俺はお前が〇〇と關係してゐる事を知つてゐるものだ、三十日の晩聚樂館の脇に來い、若し來なかつたら新聞に發表したり附近の人々にいひふらすぞ！」

との脅迫狀が舞込んだのでハルさん親子は非常に驚き昨夜平署に訴へ出たので調査の結果犯人は同人方に止宿中の生方保吉（四四）でハルさんに年がひもなく懸想し何とかものにしやうとて出鱈目な口實で前記行爲に及んだ事判明直ちに脅迫罪として留置場に入れられた

政戰本舞臺へ

本日一名立候補

言論戰も開始

前日政友の重鎭阿部政右衛門氏が立候補を斷念して激戰の平政戰にショックを與へ合計五十名の鹿逐戰となつて一日を迎へたが更にこの朝上平窪の戰線統一がついたらしく正午に到り元村議鈴木庄之助氏が敢然立候補しこれで戰は豫想通り五十一候補の出馬となつた、即ち舊平區は四十六名舊平窪區は五名の全獲主義に臨み更に全候補を新舊別にわける時は新人二十五名、舊人二十二名、元四名となり然も文書戰の熾烈に加へて一日からは演説會もボツ〳〵開かれるなど新鋭古剛入り亂れて戰を進められてゆく重責を荷ふて新市政に關與する三十の榮冠は果して何人に歸すか？戰は後九日——爛戰に色彩られた第一次政戰を汚すことなく進めてこそ〝明朗平市〟は建設されるのである

土工殺しに懲役六年

本日判決さる

既報土工に喧嘩は附ものとはいひ些細の事で人を傷つけたり殺したりする事は斷じて許す事は出來ないとて懲役八年を求刑された田人街道の殺傷犯人田人村大字南大平字坪内六七小松熊太郎氏方栃木縣那須郡生れ土工古家小二郎（三〇）に係る殺人及び殺人未遂事件の判決公判は今一日午前十時から平支部に開廷されたが中島裁判長から懲役六年を言渡された

短刀と臺詞で酒を飲む男

湯本の不良大工檢擧

〝金は金だが延べ金だ〟とて物騷な短刀を武器にして無錢飲食を働いてゐた不良大工が檢擧された湯本町字天王崎一大工鈴木秀雄（二六）は目下平檢事局で取調べを受けてゐるが同人は常に刄渡六寸餘の短刀を懐にして町内を横行カフエー等で飲食し催促されるや短刀を見せ乍ら後で支拂ふからと無錢遊興をしてゐたもので附近民からダカツの如く嫌はれてゐたもの

第三校の球技大會

平第三小學校は來る十七日全校兒童の球技大會を催す

勿來窪田に公會堂

三日地鎭祭

勿來町は同町窪田小學校脇に中山組の請負ひで公會堂兼講堂を建設することゝなり明後三日午前十時から地鎭祭を執行するが工費は二萬八千圓、九間に二十一間の木造平家建である

噂の巷

昨夜八時頃湯本駐在巡査が町内を密行中三函の長倉坑夫清柳作一郎（二八）方から殺せ！〳〵との悲鳴に驚き何事ならんと同家に入つてみると犬も喰はぬ夫婦喧嘩の眞最中ですてゝ置くわけにもゆかず仲に入り事情を質すと喧嘩相手のハル（三〇）さんは作一郎の戀女房で最近男の方から嫉氣がさしたものか別れ話が持ちあがり遂に爆發してこの態たらくとなつたものだが餘り猛烈果敢に續行するので止むなく女を一先づ平署に連行昂奮の講まるのを待つて猪狩警部がこれを裁き當分女を親戚に當る同町坂本野菜店に逃避せしめ徐ろに解決させるといふ

平市人事

回出生

△田町五箕輪爲吉氏四男精一さん

△擂槌小路一四高崎晴明氏三女怜子さん

△三丁目七目下大阪市旭區新杏小路中二ノ七一加藤時太郎氏二女昌子さん

回婚姻

△東京市麴町區富士見町二ノ三三內田功哉（三五）氏二丁目三九鈴木ハナ子（二七）さん

回死亡

△材木町三五目下栃木縣足利郡山邊村大字八幡三七八酒井留吉氏七女トクヨ（一九）さん

平職業紹介所

求人の部

△女工　四十歳迄　給料面談　尋卒程度

△鐵工　三十歳以下　給料面談　尋卒程度

△採炭夫　十八—四十才迄　日給一圓五十錢

△印刷工　年令不問　委細面談　尋卒以上

△土工夫　教育年令不問　日給一圓二十錢

人給工　十六—二十五才迄　日給六十錢以上

△雜夫　教育年齢不問　日給七十錢

△牛乳配達　三十才位　給料面談　高卒程度

求職の部

△鐵工　三十一才　尋卒

△女工　十三才　尋卒

△雜夫　二十二才　高卒

△土工夫　四十九才　尋卒

△漁夫　三十才　高卒

△女中　十六才　高一修

△女中　十九才　女子青年學校卒　裁縫行儀等を見習得る家庭

JOHK

今晩の部

▼後六、〇〇　講演「元寇の役に就て」木下讃太郎

▼後六、三〇　少年少女獨唱大會　吉田玲子、山崎一郎、中山梶子

▼後七、三〇　講演「産業災害の防止と全國安全週間」大村清一

▼後八、〇〇　物語「或日のモラエス」汐見洋

▼後八、三五　俗曲　寅由喜、力松

▼後九、〇〇　爽涼名作ぞろひ　長唄「新石橋」「筑摩川」芳村伊久四郎、杵屋榮藏連

▼後九、三〇　時報　ニュース　明日の話題　産業メモ

明日の部

▼前一〇、三〇　家庭講座「脚氣患者と食物」原實

▼後〇、〇五　琵琶「錦の御旗」太田良一

▼後二、〇〇　小學生尋五高二の時間　名曲のいはれ四「美しき碧きドナウ」螢の光唱歌隊、綠の園學校劇部

▼後二、三〇　母の時間「子供の遊びの指導」新庄よしこ

▼後三、一〇　教師の時間「現代日本の文學に就て」宇野浩二

▼後六、三〇　近世日本の英傑「野口英世」東京放送童話研究會

▼後七、三〇　管絃樂　ワインガルトナーの「第六交響曲」シュラウスの「青きドナウ」日響、指揮ワインガルトナー夫妻

▼後八、二〇　漫才「主人がやかましいんです」玉松一郎、ミスワカナ

▼後八、四〇　爽涼名作ぞろひ　箏曲「夏の曲」「蛙」宮崎春昇他

▼後九、〇〇　時事解説「本年度上半期世界經濟の動向」阿部賢一

安田傘契畫伯作品頒布會

川合玉堂門下の安田傘契畫伯は日本畫會中央美術展に數回入選し、帝展四回入選の常連で帝展派の中堅として將來を囑望されてゐる青年作家であるが今般同氏の來平を好機に青沼臨時市長蓮沼、關内、野崎、小野四縣會議員、諸橋久太郎氏等地方名士二十二氏發起のもとに同氏の新作頒布會が計畫され同氏は市内白銀町やよひ館で作品の揮毫中である、同好の士の御入會を待つ

傘契畫伯後援會

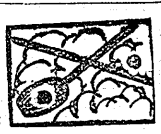
潤規
一、尺五絹本　金四十圓
一、尺三絹本　金三十圓
一、紙本半折　金十圓
其他御希望により御相談に應じます、畫題は主として花鳥、山水

申込所　平市田町五〇（電話六一二番）
福島民報平支局
平市騰匠町　鳥越山彌
平市大町　前田表具店

和洋建具家具
テーブル椅子
其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御努め致します
製作販賣　諸官衙各學校御用達
平市五丁目四
片寄製作所
片寄小彌太　電話四八四
十五、六歳以上の見習徒弟募集
（御希望の方は至急申込下さい）

靈効散 胃腸藥 を御試し下さい
胃腸を害ね或は下痢をしたり或は三日も四日も便通がなくて頭痛を覺える御方はキ、メの早い
胃腸病、心臓病、腦、痰、適應藥
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい
平市古鍛冶町一〇縣社ノ下
處方箋調劑所　阿康藥局
電話四一四番　振替口座東京三〇〇六六番
定價　五十錢　八日分　壹圓　廿日分
御子様方には飲み易い小兒靈効散があります。

市原醫院
平市田町　電話一二四番
内科　小兒科　外科　梅毒淋病
市原卯太郎　市原三三男
入院隨時



白柄劍風連

大島多慶夫作
井川洗涯畫
（商）布施長春畫
（第）村瀬春映畫
（紙上映上演禁）

……一九一……

剣客往來（五）

十郎左衛門は二階の奥まつた廣い座敷で、床柱に背中を凭せて、隣のおきんと差向ひに坐つて酒を飲んでゐた。

『お主水か、能く來つた』

と、十郎左衛門は懐しさうに朗かな調子で口を利く。

二間ばかり離れたところへ坐つた主水は、恭々しく兩手をついて平伏した。

『お邪魔にはなりますまいか』

『邪、別に……そちが相手になつて呉れると退屈をせんで好いのう内儀』

『左様でございます。生憎今夜は何方もお友達の方様がいらつしやりませんので』

お京はじつと主水の動作に注意を拂つてゐたが、前髪や姿の以前にも増して美しくなつたに引替へて、物腰かつかうの以前に比して沈着に大人びたのに驚いた様であつた。

十郎左衛門は盃を主水の方へさした。

『主水。まあ斯ういふ場所で飲む酒も甘いものぢや。さ、遣らうかな』

『いゝえ、御辭退をいたします。心が紊れて不調法があつてはなりませぬ。それに、萬一の場合には御殿様を御護りいたさなければならぬ勤めを控へて居りまする』

『うむ、さうか。ではそちのまゝにいたせよ』

『はい』

と、主水は膝の上に両手を揃いて、つゝましやかに俯向いてゐる。

燈影をうけて緑みを帯びた眼が鋭い。小さく唇が締つてゐる口許。光澤のある頬。おきんも主水の綺麗な男なのを見て惚れ〴〵としてゐた。そして、不圖同じ美男であつた松平五左衛門のことなどを思ひ出したのであつた。

お京はまた飽り切つた主水の眼を見て、何だか夢の世界を辿つてゐるやうな心地がしてゐた。

『な、お殿様』

と、おきんはやうやく口を開いた。

『何ぢや』

『御家來衆の噂で思ひ出しましたが……そら松平殿はいかゞなさりましたら』

『うむ。何處かで遊女に戯して居るのぢやらう。もう江戸には居らん』

『ほう』

と、おきんは初耳らしく驚いた顔をして

『何處に居らつしやりませうな』

『さ、それは判らん。そら、お前と一緒に樂しく暮して居るのぢやな』

『もう江戸へはお歸りにはならないのでございますか』

『何、そのうちに戻つて參る』

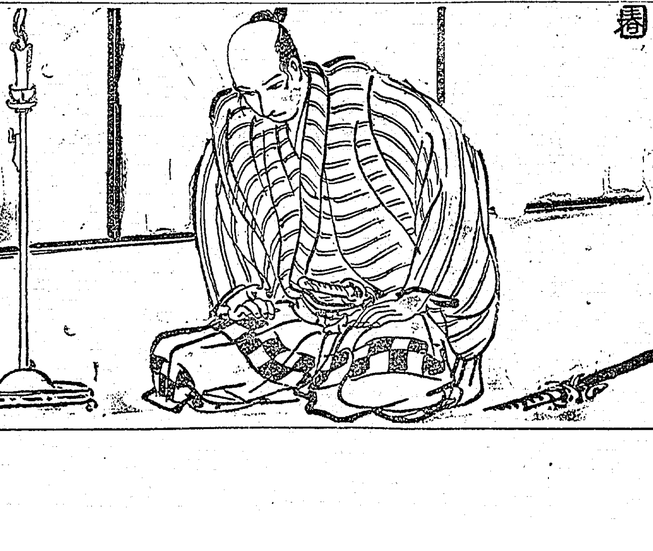
十郎左衛門は何事か急に思ひ出したやうに、静かに立上つて、お京の熱心に主水を見てゐる顔を眉をひそめながら見入つた。

『お京』

と、聲は低いが、確力の籠つた調子で呼んだ。

『はい』

お京はハッと我に返つた。



幼兒とおむつ

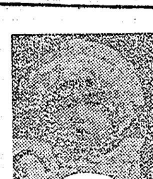
ぬらさぬ習慣を早くからつけよ

年中じめじめでは衛生上も洗濯も大變

「わけもなく小さいお子さんたちが泣き出した時は、おむつを調べてごらんなさい」といはれるくらゐに、ぬれたおむつは不快なものです、そして、このぬれたおむつのためにそこが蒸れて、かよわいお子さんたちの皮膚をいため眞つ赤にただれてきます、生かわきのおむつもこのぬれたおむつと同じことです、そればかりかぬれたおむつがたくさんたまればおかあさんたちのお洗濯が大へんです、殊にこれからのじめじめする梅雨期はさうです、それでお子さんたちのためにも、お母さんたちのためにも次の事をおすゝめいたします

おむつは出來るだけぬらさないやうにはやくから習慣づけることです、生後一ヶ月くらゐからなら大丈夫、おかあさんがさせてやること、その時間はたとへば**一日**に五回位お乳をあたへるとすればその度毎にその後にさせます、度は一回くらゐで結構、お子さんがむづかつて眼をさましますからよくわかります、それから少し大きくなつて口をきくやうになれば、ひとりで教へるやうになります、これからは外も寒いといふやうなこともなく、この習慣をつけるには一番よい時、かうして度々外の空氣にふれさすことによつて、お子さんたちの皮膚も丈夫になつて風邪などを引かないやうになつてきますし、またいつもおむつがさつぱりしてゐるので、お子さんたちもすがすがしいこゝろよい氣分で居られるわけです、しかしこの習慣もおかあさんたちの不斷の努力と注意がなければ成就するものではありません

次におむつを用ひる際の注意としては……生かわきのものとよくゆすがないものは禁物よくゆすがなかつたために石鹸分がのこつてをり、これでかぶれるといふやうなお子さんもありますまた長くしまつておいたものをそのまゝ用ひてもこんな結果になさることがありますから、用ひるのは一度煮沸消毒をしてからにすることが大切です、梅雨期になるとこれ等の事も怠りがちになりますから充分ご注意のこと、それから暑い夏のおむつにはあらひさらしの浴衣や白さらしを一度水に通したもの等をおすゝめします、蒸れがられるおむつカバー等もゴムのものは感心しません、ちよつとの汗でもなかなか外に發散せずじめじめし、さうでなくとも濕氣の**多い**時などは、お子さんたちの皮膚をいためること少くありません、もし用ひる時はフランネル（絹のものでない）毛糸編のもの、毛織物等がよいとおもひます、なほ少し大きくなつたお子さんは、抱いてさせるといつても重くて容易でありません、それで小さい椅子等に穴をつくり下に便器をおいてさせるやうにすればよいとおもひます、アメリカあたりではこの目的の椅子が出來てをり、前にはテーブル様のものがついてをり、その上に玩具や繪本等をひろげられるやうになつてゐるのもあります（醫學博士・井出ひろ子女史談）



主婦のメモ

■らつきようをおいしくするコツ

らつきようは鹽漬にしてから、酢につけますが、土用の日光に、カメごとだして三四日あてますと、砂糖を入れなくても、甘味が出ておいしくなります

裏口の美化

玄關や臺所だけでなく臺所口へも關心

○—いはゆる庭園の美化といふことは既に相當工夫されつくしてゐます。これからは樹蔭の下で泉水の聲をのぞくやうな氣分も味いものですが、私はぐつと方向を裏口の方にむけて臺所口の裏庭の利用を提唱したいとおもひます、玄關わきとかお勝手の裏口に無關心でゐてご用きゝの態度や女中の氣分がガサ〳〵することを非難するのは無理なことです、座敷や玄關を綺麗にすると同時にこの裏庭を利用し美化する事を工夫したら、どんなに朗かになるでせう。殊に田舍ならば充分餘地のある事ですから、季節々々の花を植ゑるとか、畑をつくつてへうたんやへちまなどをうゑて夏の日の緑陰をつくるのもたのしみなことです

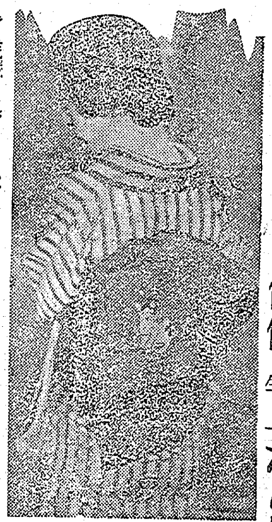
○—無論これにはいろ〳〵な準備が必要です。まづ裏口に散らばるほうきや塵とりの置き場所を整然とすることを實行しなければなりません、また今少し範圍をひろげていへば、物置きの内部の整理炭俵、石炭、つけ物樽などをどういふ風におけばよいかです。勝手口の美化から、かうしたもの〻整理をどちらからでも實行する心掛があれば、つぎにはきたない溝や流しのことも氣になる事でせう

○—要するに勝手口の美化が徹底して、家の中を隅から隅まできれいにすることが出來るやうになるでせう。服裝でいへば上の着物やお化粧よりも、肌着をいつも美しくしてゐるといつた感じです。玄關や座敷にばかりとらはれず、あまり問題にされてゐない勝手口の美化をとなへるのはこのためで

絹は衣服としてこんな長所がある

服飾界の王者として恥ちぬ

保健衛生上から檢討



絹布は服飾界の王者として君臨してをりますが、やゝもすると、その外觀や手ざわりの高尚優雅な點だけが評價の對象となつてゐて、その衞生的、保險的價値についてはあまり注意されてゐないやうです、しかし衣服としてこの點こそ最もよく知つておかなければならぬ事です

□

重量と被覆力　被覆力といふのは、一定の重量の纖維で身體の表面を被覆出來る面積の大きさを意味するのですが、絹は纖維が細く並列してゐるので被覆力は非常に優れてをり、少量の纖維で身體全體をつゝむ事が出來ます。すなはち輕い織物、衣服として選ばれるわけです

□

熱の傳導性　衣服原料の纖維中、熱の傳導度のもつとも多いものは木綿、それについで人絹、羊毛、生糸の順で、絹はもつとも傳導性がよわく、熱を放散させる度が少いので保溫材料として好適です

通氣性　絹は[illegible]力が大きいといふのは纖維が不規則によく並列する事を意味し、したがつて通氣性はあまりよくない事になります、然しこの通氣性は原料纖維には殆ど關係せず、主として織物の方法に依存するものですから、織法の如何で夏季のボイルのごとく通氣性のゆたかなもの、或はその反對のものと、自由につくることが出來るわけです

□

保溫性　一般に絹織物は毛織物に比して保溫性がとぼしいやうにおもはれてをりますが、これは從來の製織方法が絹本來の性質を充分發揮出來なかつたためで、研究の結果、纖度多孔性織物の製織によつて保溫力のすぐれたものが出來るやうになりました、元來絹は前に申し上げたやうに通氣性と熱の傳導度が少いため保溫力は大きいものなのです

紫外線に對する性質　絹は紫外線の透過性が少く、その點直射的な熱線は他の纖維におとりますが、[illegible]力が大きいので濕地で衣服として用ひる事は充分目的を達せられるので、その短所はおぎなはれます、しかし重要なのは寧ろこの役割のやうに紫外線が過多で日やけの多い場合には絹布で防止することが出來、殊にテント、日傘等は絹が最上といたします、また紫外線の吸收、發散について觀る學者は絹布を日光に一時間以上照射しておくと十時間以上その日光效果を發散すると云つてをります

水分吸收及び放散性　衣服の吸濕性は發汗その他人體に直接關係を有し、その適度であるものは衞生の重大條件ですが、絹は木綿、亞麻等に比して多くの水分を吸收しますが、一面その放散がはやいので、常に適度の濕氣をたもつことが出來ます

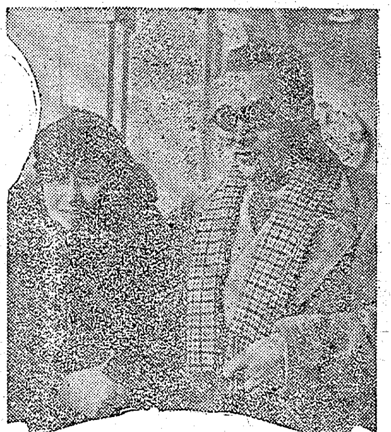
以上のごとく保健上から檢討しても、絹織物は衣服として非常にすぐれたものであり、古來服飾の王者といはれてゐるのももつともなづけるわけです

御主人 奥さま 言ひ分集

ピリッと神經にふれたかずかず

皆様のお内にもありさうな

■……夫婦生活のうちで、自分は氣がつかずに云つたり行つたりするさゝいな事柄が、たま〳〵旦那様を閉口させたり、奥さんの神經にふれたりするモノがある様です事柄がいかにも「小さい」だけに、口に出す程でもなし、といつて、しば〳〵くりかへされたのではクサ〳〵する……といふデリケートな問題をひろつて、色々と檢討したものがありました。そして、そのもつとも多數な實例を並べて、まアお互様に次のやうな實證振舞はつゝしまうぢやありませんかといふ次第になりました。こゝにその「主要な」四五點をぬいてごらんに入れます



■……まづ旦那さん側の言分から申すと」

一、紅茶茶碗をもつた小指が、キユッとはなれた形はイキなものではある。が、お客様でもあつた時、薬指までおまけにキユキユはなして見せる様な仕ぐさは見てゐる方で冷汗をかきます

一、夕刻髭剃の時「おや、いゝ所へお出かけ?」式の言葉はやめてもらひたい。刃物にふれてゐる時だけに、非常に神經が緊張してゐるから……

一、「殘念でねエ! けふはこの位のデカい鯉を釣上げた途端にベラしちやつて……」とたとへば夕飯の卓でくやしがつてゐるのに「又釣か」とばかりに厭々返事もしない奥さんは、彼にとつてさびしすぎる

一、[illegible]金の催促は必ず勉強以外の時に

一、しかられても勝手口で口笛などふかない様に……。等々

■……今度は奥さん方の言分

一、一緒にご飯をいたゞいてゐるのに獨りで雜誌などに讀みふけらない様に

一、わざ〳〵灰皿をきれいにして來たのに、平氣で紅茶茶碗の中に灰をおとすやうな事はしないで

一、歐米人の男に似せようとして肩幅のひろい背廣を注文されても、奥さんはあなたの體躯をよく知つてゐる

一、上着やチヨッキのポケットに鉛筆、萬年筆等大小とり〴〵の七つ道具を得々とさすやうな趣味はどうかとおもひます

一、病床にある時ドアの開けたてだけはお靜かに。お見舞の言葉を聞かなくても、靜かに閉めた思ひやりは病婦に最大な慰めをもたらすもの

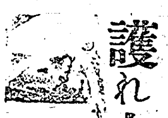
一、どんな小さい事がらでも間違つてゐたと氣づいたら、無駄な主張だけはやめていたゞきたい（パリ通信）

○家庭用心帳

小なべを磨くには

アルミニユームの鍋は、ながく使つてゐる間に、野菜から出る汁のために黑くよごれて來ます、これを元通りきれいにするには、ソーダを熱湯でとかしたものであらふとよろしい、ひどくなつたところはブラッシュかネルの布に溶液をひたして、丹念にこすり、あと二三回清水であらへばきれいになります

護れ太平洋の波



寺島柾史（作）

村瀨春映（畫）

……[illegible]一九一一……

類人猿か（一〇）

國際都市上海の中心地四馬路のとある一角にあるレストラン、ハル、の客間。○

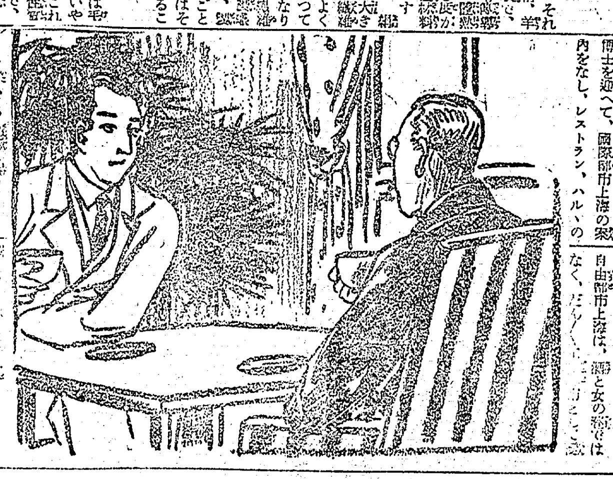
白晝この客間の一卓子をかこんで、紅茶をのんでゐる一組の客があつた。

一人は、支那人とおぼしい靑年紳士、その相手は、冷たい眼の所有者クーパー博士だ。

靑年紳士は、東洋流の柔和な相のうちに、時流に屈せぬ新興支那の靑年の意志感情を藏してゐる。

かれは、クーパー博士とは、年來の知己で、アメリカの大學に在學當時、しば〳〵博士の門を叩いた篤學の好學者で、その名を宋仲恂といふ。

宋靑年は、支那漫遊のクーパー博士を迎へて、國際都市上海の案内をなし、レストラン、ハル、の客間を選ふて、歡談に耽つてゐるのだ。



ハル、の、豪奢壯麗な客間も、白晝のことゝて、ひつそりとしてゐる。こんな場所で密談をかわす方が、大臣官邸の一室よりも安全だといはれるくらゐである。

宋靑年は、歡談に醉つて頰を紅潮さしてゐる。博士は、相變らず冷靜だ。

『わしは、今度の支那旅行で、何よりも愉快におもつたことは、支那は、昔日の支那ではなく、新興の氣銳の勢力に滿ち溢れてゐることを知つたからです』

クーパー博士は、やがてまたそれをくり返した。

『どういふ點が、御興味なのでせう』

宋靑年は、黑曜石のやうな瞳をあげて、博士を見守つた。

『支那の靑年が、民族的に目ざめて來てゐることを觀取したからです。靑年男女が、積極的になつてゐる。支那を更生させるものは、われわれ靑年だといふ自覺をもつて勉強してゐる。これは共産主義運動に狂走してゐた十年前の支那靑年の非常な進歩であるとおもふソヴエート、ロシアが、共産主義から民族主義に入つて、獨裁その國の國工業の發達をみるに至つたと同樣に、支那も、民族主義の自覺によつて、はじめて大地に深く根を下ろすこと、ができたのだ……と、わしは信じる』

『たしかに、さうです』

『わしは、支那全土にみなぎる、民族的自覺は、たいへんよろこんでゐるが、隣國日本が、依然として支那を[illegible]の天下のごとく壓迫してゐるのを、その色目を氣の毒におもつてゐる』

『滿洲事變以來、支那には、ひとつの、眼にみえない民族統一の再生があつたわけです』

『さうだ そして、民族統一の再生が、眼にみえない經濟革命をうながしたこともあるとおもふ、自由都市上海は、男と女の戀愛はなく、[illegible]しつゝあることを認める』

『さうです。われ〳〵は、支那の工業立國を主張してゐます』

『そこで、わがアメリカが、これを援助しようとするのは、當然のことぢやないか、支那は、長い間の軍閥政治のために國際的に非常に結滯してゐる。金がなくては政治ができぬ以上に、工業の發展興隆はのぞめない。幸ひアメリカ合衆國は支那のよき友だ。そして金がある。科學的に進歩してゐる。科學工業の先驅だ。……合衆國が、支那を援助することは條理にかなつてゐる』

『博士の、今度の御旅行の主目的は、そこにあるのではないでせうか』

『つまり、科學工業の先驅として友邦支那を援助に參つたのさ』

『ありがたうございます』

『禮をうけるにはまだ早い。支那が、合衆國の援助を素直にうけてくれるかどうかわからぬでな』

『いや、双手をあげて合衆國の御援助をうけます』

宋靑年は、支那を代表するかのやうに感激的だ。

外科内臟外科
X光線科　院長　安齋徹
―新設―
産婦人科　醫學士　黑澤廣
▽入院隨意△
平市田町
安齋醫院
電話四七五番

▽是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券質、物一般
三井質店
平四　電話六〇六番

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士　鈴木正男
平市田町（電話五八番）藤田女學校前
入院のお需めに應ず
自炊の便あり

業務擴張廣告
謹啓初夏之候各位益々御清祥奉賀上候陳者弊店儀御當地に開業日尚淺きにも不拘日に隆昌に趣きつゝあるはこれ各位の甚大なる御聲援の賜と深謝仕り候
扨而今回斯界の王者東京市本所區東兩國一丁目製銅鐵業問屋岡田菊次郎商店の特別なる御後援に依り一層御得意各位に對し御期待に添ふ樣努力仕る可く候間何卒御拂下御買上共に御下命の程賜はり度御願申上候
銅鐵機械商
井尻七三郎商店
福島縣平市鍛治町一二
電話五百二十二番

新研究の榮養化粧水
三共パパコロン
新製品
南洋の珍果パパイヤの果汁から抽出したパパイン酵素應用の特許新化粧水です。ニキビ・ソバカスの痕を消しスベスベしたお肌に若返へります。
一本　35セン
尙養毛料として評判のヨウモトニツク姉妹品ヨウモト香油（￥.60）もあります。
三共株式會社製品總代理店
（平市）西村屋藥局（電3）

上原家政婦會
平市紺屋町二一番
會主産婆　上原通子
電話二二二番
産婆看護婦有資格者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

石炭
コークス
豆炭
阿部石炭店
平驛前　電三十七番

御贈答に……
鰹節
美味
鰹鹽から
貝燒
魚問屋
志賀盛榮商店
平市四丁目（電話二一三番）

新開院
重田眼科
平驛前通り（元福島貯蓄銀行跡）
眼科一般
眼鏡檢定
醫師　重田景治
平市田町一番地

季節…料理
江戸前
鳥・あわび
うなぎ
蒲燒
仕出迅速
魚榮
平市田町（電話四一四番）

初夏の氣分と
行屆いたルーム
お出をお待ち致します。
珈琲と御食事
グリル・バッカス
平市銀座通り
電七〇二
女店員募集
全部給料制度
品位ある方を望む
經驗無き方も良し……。

外科一般　レントゲン科
内臟外科　泌尿器科
北川外科
平市新川町二七（諸橋醫院跡）
醫學博士　北川芳夫
技師　小林良次
電話四六四番
（血液檢査毎日）
イツデモ入院出來マス

壁の塗り替へは！
カセイン
大谷建材店
平市紺屋町
電話三六六番

久
横山商店
債券部
現物賣買
勸業債券
復興債券
割引債券
雜貨部
時計
万年筆
レザー各種
化粧品
平市仲間町五六
電話二七一番
振替東京九〇六一〇